

令和 6 年 度

砺波市教育に関する事務の点検及び評価結果
に関する報告書（令和 5 年度分）

令和 6 年 1 2 月

砺波市教育委員会

目 次

I 点検・評価の実施方針

1 趣旨	1
2 教育委員会の方針	1
3 点検・評価の対象	1
4 議会への報告及び公表	1

II 点検及び評価の結果

1 教育委員会の運営状況	2
（1）教育委員会の構成	2
（2）教育委員会の開催状況	2
2 教育委員会の組織	3
3 砺波市教育大綱	4
4 教育委員会の事務事業の評価	10
（1）評価の対象事務事業	10
（2）評価の方法	10
（3）評価の公表	10
（4）事務事業評価表の様式及び記載方法	10
（5）教育に関する事務の点検及び評価	13
（6）個別評価表	19

III 学識経験者の意見について

36

IV まとめ

37

I 点検・評価の実施方針

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすため、砺波市教育委員会が実施する教育に関する事務の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表する。

2 教育委員会の方針

教育委員会が所管する事務事業のうち、施策として評価が必要なものについて、個別に事務事業評価を行い、これに基づいて総合的な評価（拡充、継続、見直し、廃止）をする。また、管理的、経常的事務についても、政策として評価が必要な事務については、評価対象とする。

3 点検・評価の対象

令和5年4月から令和6年3月までに実施した教育委員会の事務（令和5年度分）

4 議会への報告及び公表

点検・評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、砺波市ホームページに公表する。

Ⅱ 点検及び評価の結果

1 教育委員会の運営状況

(1) 教育委員会の構成(R 6. 3. 3 1 現在)

職 名	氏 名	就任・任期	備 考
教 育 長	白江 勉	R 3. 4. 1 ~ R 7.12.22	元小学校長
教育長職務代理者	林 克彦	H25.12.23 ~ R 7.12.22	神職・元小学校長
委 員	齋藤 正樹	H20.12.23 ~ R 6.12.22	僧侶・元教諭
委 員	岩崎 納子	R 4.12.23 ~ R 8.12.22	講師・通訳翻訳業
委 員	吉澤 めぐみ	R 5.12.23 ~ R 9.12.22	坊守

(年齢等)

年齢：70歳台1人、60歳台2人、50歳台2人

性別：男性3人、女性2人

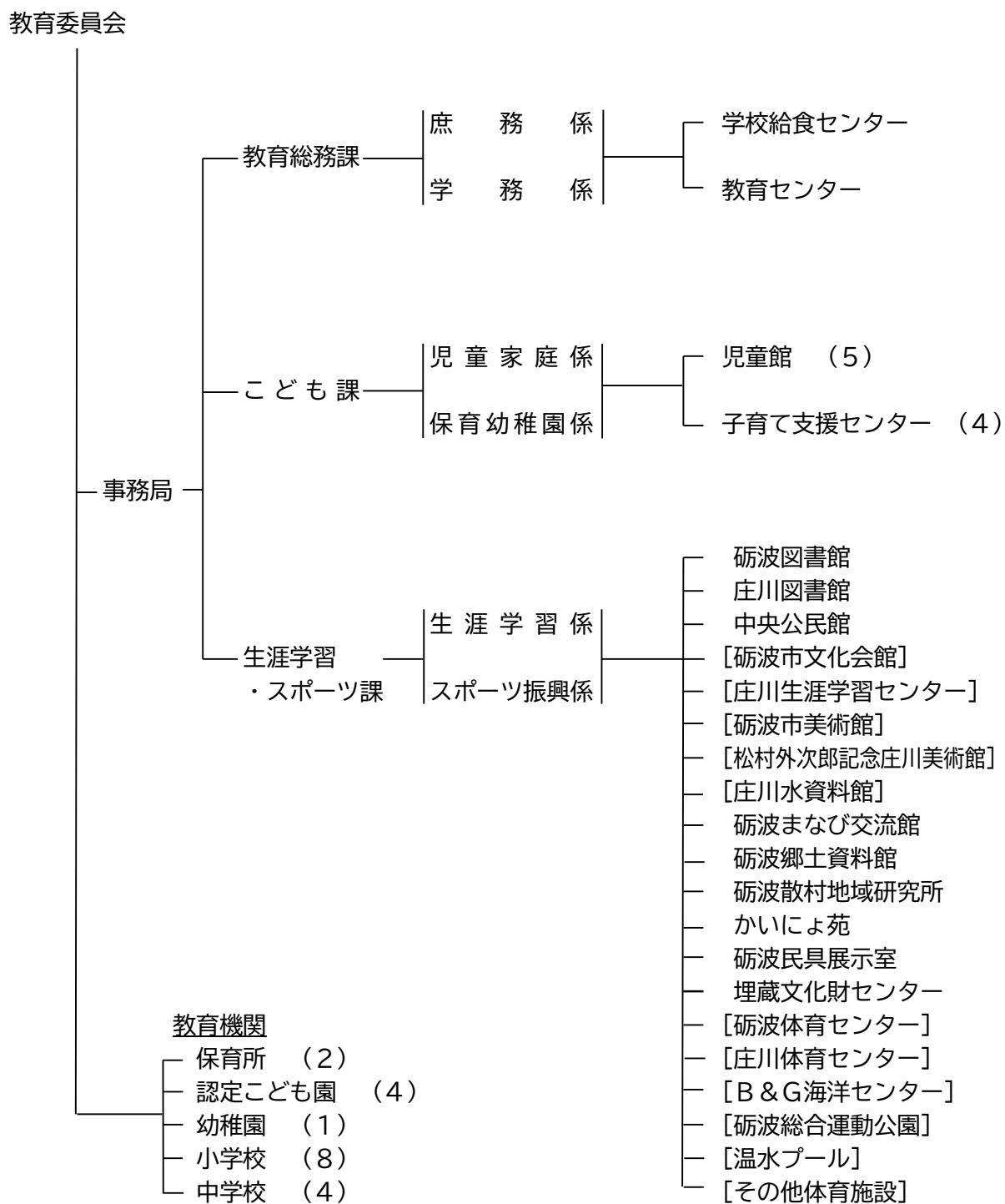
保護者である委員：2人

(2) 教育委員会の開催状況

- ・定例会 12回
- ・臨時会 0回

2 教育委員会の組織

【機構図】（R 6． 3． 3 1 現在）



（ ）は施設数

[]は指定管理者制度による運営

砺波市教育大綱

1 基本方針

ともに輝き支えあう 人づくり

市民一人一人は、それぞれ個性をもった可能性あるかけがえのない存在です。未来を担う子供たちが、互いに思いやりの心を持ちながら、のびのびとたくましく育つ教育環境を整えるとともに、市民の誰もが、地域の歴史や文化芸術にふれあい、学ぶことにより、地域を愛し豊かな心を育む生涯学習の充実を図ります。また、健やかな生涯を送れるようスポーツ活動に親しみ楽しめるまちづくりを進めます。

2 大綱の期間

この大綱が対象とする期間は、第2次砺波市総合計画後期計画（令和4年度～令和8年度）との整合性を図るため、令和4年度から令和8年度までの5か年とします。

3 5つの主要施策

主要施策1 豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進

主要施策2 自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進

主要施策3 楽しく学び自らを高める生涯学習の推進

主要施策4 文化芸術の振興と文化財の保存・活用

主要施策5 心と体を育むスポーツの振興

《主要施策１》 豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進

◆施策の内容

◎元気で笑顔あふれる子供の育成

- 豊かな心と健やかな体を育てる幼児教育・保育の推進
- コミュニケーション能力の基礎づくり

◎幼児教育の質の向上と人材育成

- 幼稚園教諭・保育士への研修、指導体制の充実
- 子育て支援に関わる人材の育成
- 発達障がい等に対する早期支援の推進

◎子育て支援サービスの充実

- 特別保育の拡充
- 地域における子育て支援の推進

◎子供の人権の尊重

- 児童虐待防止体制の整備
- 貧困家庭等への支援

◎子育て環境の充実

- 幼児教育・保育施設の整備
- 認定こども園化の推進
- ICT環境の整備

《主要施策2》 自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進

◆施策の内容

◎知、徳、体のバランスのとれた児童生徒の育成

- 個に応じた指導の充実と生きる力を身につけた児童生徒の育成
- 確かな学力の定着と相談活動や支援活動の推進
- 「いのちの教育」や「心の教育」への取組と道徳、人権教育の推進
- 持続可能な社会の創り手を育む教育の充実
- 学校における働き方改革の推進と教職員研修・指導体制の充実
- 食育の指導体制と内容の充実
- 保育所・認定こども園・幼稚園と小学校、小学校と中学校との連携強化

◎地域とともに育てる学校教育の推進

- 地域の理解を深め、郷土への愛着や誇りを育む「ふるさと学習」の推進
- 校種間、学校・家庭・地域間の連携推進
- 将来を展望した学校のあり方についての検討
- 部活動改革に伴う地域部活動体制の整備
- 地域とともにある学校づくりの推進
- 積極的な学校情報の発信

◎共に支え高め合う特別支援教育の充実

- 特別な支援を必要とする児童生徒への支援体制の充実
- 保護者や学校、スクールカウンセラー等の連携

◎学校施設の整備と充実

- 学校施設の整備及び教材備品等の充実
- 学校ICT環境の充実と更なる活用

◎子供の安全確保

- 登下校時の見守り活動の実施
- 通学路の安全確保に向けた取組の推進
- 非常時の適切な危機管理

《主要施策3》 楽しく学び自らを高める生涯学習の推進

◆施策の内容

◎学ぶ機会の創出と充実

- 多様な学習機会の企画や市民交流活動の提供
- 自主運営による講座やコミュニティ活動、社会貢献活動の支援
- 子供から高齢者までが参加できる地域活動の充実
- 地域行事への参加意識の啓発

◎生涯学習施設の充実

- 生涯学習施設の効率的な活用と施設の改善
- 地域集会施設における改修の支援

◎家庭教育力の向上

- 「親育ち」に向けた学習機会の提供や「親学び」学習講座の支援
- 生活習慣や食習慣形成のための啓発活動の推進

◎図書館サービスの拡充

- にぎわいと学びを創り出す図書館運営
- 読書文化の醸成と子供の読書活動の推進
- 図書館の蔵書と図書資料の充実

◎青少年の健全育成と女性活動の活性化

- 青少年健全育成運動の推進と確かな情報モラル、情報リテラシー教育の推進
- 青年・女性団体リーダー養成事業等による活動の活性化

《主要施策 4》 文化芸術の振興と文化財の保存・活用

◆施策の内容

◎文化芸術活動の推進

- 市民に親しまれ、活用される文化施設の運営
- 文化団体の自主的活動の支援
- 児童生徒への文化芸術に関する普及活動の推進

◎文化財等の保存と活用

- 史跡増山城跡の整備と活用
- 指定文化財等の点検や適切な保存

◎地域文化の継承と発展

- 地域の伝統文化や伝統芸能の継承と発展
- 地域の歴史や文化を学ぶ機会の提供

《主要施策 5》 心と体を育むスポーツの振興

◆施策の内容

◎生涯スポーツの振興

- 気軽に親しめるスポーツの普及と地域におけるスポーツの振興
- 子供たちの体力づくり支援
- 地域スポーツ推進リーダーやスポーツボランティア等の育成

◎スポーツ競技力の向上

- トップアスリート養成に向けた優秀スポーツ選手育成の推進
- 競技スポーツの魅力提供による底辺拡大と普及啓発
- スポーツ指導者の発掘と育成

◎スポーツ施設の充実

- 安全で快適に利用できるスポーツ環境づくり
- 施設の計画的な改修と備品等の充実

4 教育委員会の事務事業の評価

(1) 評価の対象事務事業

評価にあたっては、砺波市教育大綱に掲げられた主要施策を構成する事務事業を評価する。

ただし、評価するのは政策的に実施される施策（事務事業）とし、経常的かつ管理的な事務事業及び一時的な建設に係る事務等については、評価表は作成しないこととする。

(2) 評価の方法

- ① 所管課において、評価の対象となる主な施策を所属長が評価し、その総合評価が「A」、「C」及び「D」のものについて個別評価表を作成する。
- ② 学識経験者から教育委員会の事務事業評価に対する意見を聴き、課題・改善及び今後の方向をまとめる。

(3) 評価の公表

市民に対する説明責任を確保するため、市ホームページで公表する。

(4) 事務事業評価表の様式及び記載方法

次ページ「評価実施方法」のとおり

<評価実施方法>

○実施手順

砺波市教育大綱（令和4年度～令和8年度）に掲げられた主要施策を構成する事務事業区分ごとに、砺波市教育に関する事務の点検及び評価を実施する。

- （１）砺波市教育大綱の５つの主要施策に分類された事務事業を確認する。
- （２）分類された事務事業の評価を実施し、教育に関する事務の点検及び評価表（以下「評価表」という。）を作成する。ただし、評価するのは政策的な施策（事務事業）とし、管理的な事務事業、建設に係る事務事業及び新型コロナウイルスの影響による給付事業については、評価表は作成しないこととする。
- （３）学識経験者等に評価表をもとに事務事業等を説明し、その内容をまとめ、評価表と合わせて、議会に提出するとともに公表する。

○評価方法

- （１）評価対象事務事業について、評価の対象となる主な施策を所属長が評価し、その総合評価が「Ａ」、「Ｃ」及び「Ｄ」のものについて、個別評価表を作成する。
- （２）所属長の総合評価が「Ａ」、「Ｃ」及び「Ｄ」のものについて、次により個別評価表を作成する。

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	砺波市教育大綱に掲げる主要施策ごとに分類された事務事業一覧表に基づき、所管課において確認修正を行う。
施策の内容	砺波市教育大綱に掲げる主要施策ごとに分類された事務事業について、概要を記載する。

令和５年度事務事業の実施状況

事業名・予算科目	令和５年度で予算措置された事業に基づき、所管課において確認、修正を行う。
R５最終予算額	令和５年度最終予算額を記載する。（千円単位）
R５決算額	令和５年度決算額を記載する。（千円単位）
R６当初予算額	令和６年度当初予算額を記載する。（千円単位）
評価した主な施策	政策評価する施策（事業）を具体的に記載する。

令和5年度事務事業の点検及び評価

必要性	A：市民ニーズが高く必要な事務事業である。 B：法令等の定め、または一定の市民ニーズがあり、必要は高い。 C：市民ニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D：市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	A：優先度が高く、他の事務事業に優先して実施する必要がある。 B：効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C：効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D：事務事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替措置を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	A：安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B：安価な事業費で効果もあったが、計画どおり進捗していない。 C：成果は認められるが、コストを要した。 D：十分な成果が認められず、コストも要した。
総合評価	A（拡充）：十分な執行水準にあり、かつ必要性も高く、事務事業の拡充が必要である。 B（継続）：一定の執行水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C（見直し）：事務事業の必要性は認められるが、その方法等の見直しが必要 D（廃止）：事務事業の廃止を検討する（又は休止）
評価の理由等	必要性、優先性、効率性（経済性）の項目の個別評価を考慮し、総合評価に至る経過を具体的事例を踏まえて説明する。 e. g. 「A」であれば、何を拡充するのか。「B」であれば、何を効率化するか。「C」であれば、何を見直すか、「D」であれば、廃止時期など。

(5) 教育に関する事務の点検及び評価

【A（拡充）、B（継続）、C（見直し）、D（廃止）】

（単位：千円）

番号	事業名	評価した主な施策	総合評価	予算科目	所管課	R5最終 予算額	R5 決算額	R6当初 予算額
1	児童福祉総務事業	①子育て支援サービス普及促進事業 ・子育て応援券の業務、子育て支援サービスの広報、親子ふれあい塾開催等 ②食育の推進 ・各種研修、行事開催 ③子ども・子育て会議の開催 ・砺波市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況、保育所・認定こども園・幼稚園の課題などの確認	A	3-02-01-02	こども課	15,094	10,502	15,319
2	家庭児童対策事業	①家庭児童相談室の運営 ②子ども家庭総合支援拠点の運営 ③要保護児童対策地域協議会の開催 ④子ども食堂の立ち上げに関する補助	A	3-02-01-03	こども課	14,299	12,311	21,591
3	地域児童対策事業	①放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブの運営）の実施 ②砺波市児童クラブ連合会への補助	A	3-02-01-04	こども課	38,768	37,184	39,610
4	児童センター管理運営事業	①出町児童センターと庄川児童館の管理運営 ②屋外型の児童遊園（中村・千代・東石丸・夢の平）の管理運営	B	3-02-01-05	こども課	26,820	25,643	23,486
5	こども・妊産婦医療給付事業	①子ども・妊産婦の医療費の助成 ・子育て支援医療…乳児から中学3年生までの入通院にかかるもの ・妊産婦医療………医師の診断があった月の初日から出産した月の翌月末までのもの ・未熟児養育医療…低体重、チアノーゼ、黄疸など医師の診断により必要と認められるもの	A	3-02-01-06	こども課	214,832	198,106	212,594
6	三世代同居推進事業	①となみっ子宝券事業 ②三世代子育て応援給付金給付事業	B	3-02-01-07	こども課	4,600	2,442	4,000
7	砺波市新生児サポート事業	①保護者の出産にかかる経済的な負担を軽減するためのサポート金の支給 ・給付額は、第1子50,000円、第2子70,000円、第3子以降107,300円 ・対象者は、令和3年4月2日以降に出生した新生児の保護者（住所要件等あり）	B	3-02-01-08	こども課	23,013	16,317	20,553
8	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	①児童手当受給世帯、特別児童扶養手当受給世帯、その他対象児童（高校1～3年生まで）の養育者世帯 ②ひとり親世帯のうち、児童扶養手当受給世帯、公的年金受給者のため児童扶養手当を受けていない世帯、家計急変者 ・新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し生活支援として給付金を支給（児童1人5万円）（※所得要件あり）	—	3-02-01-21	こども課	40,851	33,993	0
9	助産施設収容措置事業	①経済上の理由により入院助産を受けることができない妊産婦に対し費用を負担	B	3-02-02-01	こども課	500	0	500
10	児童手当給付事業	①児童手当の支給 ・中学校修了前児童を養育している保護者に手当を支給 ・児童手当認定、支払い等の事務	B	3-02-02-02	こども課	736,512	640,224	912,701

【A（拡充）、B（継続）、C（見直し）、D（廃止）】

（単位：千円）

番号	事業名	評価した主な施策	総合評価	予算科目	所管課	R 5 最終 予算額	R 5 決算額	R 6 当初 予算額
11	母子・寡婦等 福祉対策事業	①母子・父子自立支援員の配置 ②母子家庭の母親の就業を支援 ・自立支援教育訓練給付金 ・高等職業訓練促進給付金 ③砺波市母子寡婦福祉連合会への補助 ④DV相談事業 ⑤子どもの学習支援事業 ⑥ひとり親家庭子育てサポート事業補助	B	3-02-03-01	こども課	11,524	7,429	13,549
12	遺児福祉金給 付事業	①市内に居住する義務教育修了前の遺児について遺児福祉金を支給	B	3-02-03-02	こども課	500	390	494
13	ひとり親家庭 等医療費給付 事業	①ひとり親家庭等の児童(18歳に達した最初の3月31日まで)及び父、母又は養育者に対して医療費を助成	B	3-02-03-03	こども課	29,127	27,454	28,767
14	母子寡婦福祉 資金貸付事業	①砺波市母子寡婦福祉連合会への融資資金の貸付 ・母子家庭の母及び寡婦の日常生活に必要な不時の経費に対し、市連合会から小口資金(10万円、半年貸付、無利子)の貸付	C	3-02-03-04	こども課	2,000	2,000	2,000
15	児童扶養手当 給付事業	①児童扶養手当の支給 ・離婚等により父母と生計をともにしていない児童の母又は父、父母のいずれかが身体等に重度の障害がある児童の母又は父、又は父母に代わりその児童を養育している人に手当を支給 ・児童扶養手当認定、支払い等の事務	B	3-02-03-05	こども課	103,555	87,337	98,302
16	保育所事業	①市立保育所（庄下保育所、東部保育所の2施設）の運営	B	3-02-04-02	こども課	171,682	146,975	181,514
17	子育て支援セ ンター運営事 業	①子育て支援センター事業 ・育児不安等に対する相談指導、子育てに関する情報提供、子育てサークルへの支援 ②ファミリー・サポート・センター事業 ・組織の運営及び依頼会員と協力会員の調整	A	3-02-04-03	こども課	80,294	77,529	81,960
18	民間保育所育 成事業	①市内私立認定こども園（ちゅうりっぷ、あぶらでん、たかのす、しょうがわ、出町青葉、東般若の6園）に対する運営費の助成	B	3-02-04-04	こども課	9,518	6,208	12,700
19	保育実施委託 運営事業	①市内民間保育施設（6園）や、市外保育施設（公立・私立）への保育実施委託費の支出 ②特別保育事業の実施に対する補助（一時保育、延長保育、病後児保育、年度途中入所、すこやか保育）	B	3-02-04-05	こども課	749,058	729,840	752,637
20	保育実施委託 運営事業（繰 越明許）	①私立保育施設の児童送迎用バスへの児童置き去り防止装置の設置に対しての補助	—	3-02-04-16	こども課	175	110	0
21	保育施設整備 事業	①旧青島保育所の田舎の地元自治組織への譲渡と跡地の再整備 ②旧種田保育所の田舎の地元自治組織への譲渡と跡地の再整備 ③庄東認定こども園の整備事業に対する補助	B	3-02-04-06	こども課	530,823	514,621	13,314

【A（拡充）、B（継続）、C（見直し）、D（廃止）】

（単位：千円）

番号	事業名	評価した主な施策	総合評価	予算科目	所管課	R 5 最終 予算額	R 5 決算額	R 6 当初 予算額
22	保育施設整備事業（繰越明許）	①旧鷹栖保育所跡地の再整備（公衆トイレ設置等）	－	3-02-04-15	こども課	14,000	11,001	1,100
23	認定こども園事業	①市立認定こども園（出町、南部、北部、太田の4園）の運営	B	3-02-04-07	こども課	508,155	471,903	555,626
24	教育委員会事業	・該当事務事業なし	－	10-01-01-01	教育総務課	1,708	1,589	1,698
25	教育支援委員会運営事業	・該当事務事業なし	－	10-01-02-02	教育総務課	252	152	252
26	事務局運営事業	①特別支援担当指導主事の配置 ②早期支援コーディネーターの配置 ③小中学校長会等補助金 ④市学校保健会補助金 ⑤学校あり方検討委員会開催費	A	10-01-02-03	教育総務課	17,338	13,003	19,128
27	外国語指導助手派遣事業	①小中学校に外国語指導助手を配置	B	10-01-02-04	教育総務課	44,134	44,134	44,134
28	教育センター運営事業	①教職員研修 ②視聴覚ライブラリーの貸出 ③令和のとやま型教育の推進（県委託事業）	B	10-01-03-01	教育センター	2,191	1,819	5,287
29	教育支援センター運営事業	①教育支援センター「ひよどり」の開設	B	10-01-03-02	教育センター	5,369	5,014	6,704
30	奨学資金貸付事業	①奨学資金の貸付 ②Uターン等（砺波市在住者）償還金の減免	A	10-01-04-01	教育総務課	5,710	4,800	7,800
31	神下勇夫妻奨学資金貸付・給付事業	①神下勇夫妻奨学資金の貸付及び給付 ②Uターン等（砺波市在住者）償還金の減免	A	10-01-05-01	教育総務課	11,520	10,260	13,020
32	小学校管理運営事業	①校務助手及び給食パートの配置 ②学校管理用消耗品の購入 ③学校管理用備品の修繕 ④子どもの登下校安全対応推進事業	B	10-02-01-02	教育総務課	61,534	57,170	75,572
33	スクールバス運行事業	①スクールバス運行委託料 ②スクールバス維持管理費及び燃料費 ③スクールバス修繕費 ④砺波北部小学校スクールバス及び庄東小学校スクールバス購入	A	10-02-01-03	教育総務課	28,695	27,437	21,076
34	スクールバス運行事業（繰越明許）	①スクールバス等の車内置き去り防止安全装置の設置	－	10-02-01-10	教育総務課	1,400	1,054	0
35	小学校保健管理事業	①学校医等の報酬 ②児童・教職員の健康診断 ③就学時検診	B	10-02-01-04	教育総務課	16,270	13,074	15,744

【A（拡充）、B（継続）、C（見直し）、D（廃止）】

（単位：千円）

番号	事業名	評価した主な施策	総合評価	予算科目	所管課	R 5 最終 予算額	R 5 決算額	R 6 当初 予算額
36	小学校保健管理事業（繰越明許）	①各小学校に感染症予防のための消耗品や備品を配置	－	10-02-01-07	教育総務課	4,708	4,124	0
37	小学校施設管理事業	①樹木管理、床清掃、警備等の業務委託 ②電気料、上下水道料等の支払い ③経年により改修が必要となった学校設備の修繕	B	10-02-01-05	教育総務課	165,122	134,021	163,656
38	小学校施設管理事業（繰越明許）	①自動火災報知設備の修繕 ②放送設備の更新	－	10-02-01-06	教育総務課	2,297	2,297	2,326
39	小学校教育奨励事業	①学校司書、学習支援員、スタディメイトの配置 ②教材用消耗品の購入 ③教育用備品の修繕 ④教育用コンピューターの賃借料及び保守料の支出 ⑤ふるさと学習推進事業	A	10-02-02-01	教育総務課	112,435	105,122	135,550
40	小学校教材備品整備事業	①一般教材備品の購入 ②理科備品の購入	B	10-02-02-02	教育総務課	3,826	3,730	3,720
41	小学校教育振興補助事業	①社会理科現地学習補助金 ②研究指定校補助金 ③学習支援ボランティア活用事業補助金	B	10-02-02-03	教育総務課	4,225	3,854	3,552
42	小学校児童就学奨励事業	①特別支援教育就学奨励費 ②遠距離通学児童補助 ③要保護・準要保護児童就学援助	B	10-02-02-04	教育総務課	37,120	28,672	28,896
43	小学校心の教室運営事業	①心の教室相談員の配置	A	10-02-02-05	教育総務課	3,950	3,306	6,091
44	中学校管理運営事業	①校務助手及び給食パートの配置 ②学校管理用消耗品の購入 ③学校管理用備品の修繕	B	10-03-01-02	教育総務課	33,786	32,069	39,730
45	中学校保健管理事業	①学校医等の報酬 ②生徒・教職員の健康診断	B	10-03-01-03	教育総務課	11,450	8,301	11,894
46	中学校保健管理事業（繰越明許）	①各小学校に感染症予防のための消耗品や備品を配置	－	10-03-01-07	教育総務課	1,551	1,428	0
47	中学校施設管理事業	①樹木管理、床清掃、警備等の業務委託 ②電気料、上下水道料等の支払い ③経年により改修が必要となった学校設備の修繕	B	10-03-01-04	教育総務課	80,253	60,744	82,295
48	中学校教育奨励事業	①学校司書、スタディメイトの配置 ②教材用消耗品の購入 ③教育用備品の修繕 ④教育用コンピューターの賃借料及び保守料の支出 ⑤ふるさと学習推進事業	A	10-03-02-01	教育総務課	50,234	47,275	52,988
49	中学校教材備品整備事業	①一般教材備品の購入 ②理科備品の購入	B	10-03-02-02	教育総務課	3,156	2,563	2,777

【A（拡充）、B（継続）、C（見直し）、D（廃止）】

（単位：千円）

番号	事業名	評価した主な施策	総合評価	予算科目	所管課	R 5 最終 予算額	R 5 決算額	R 6 当初 予算額
50	中学校教育振興補助事業	①各種大会等の参加補助金 ②学習支援ボランティア活用事業補助金	B	10-03-02-03	教育総務課	11,051	10,838	6,737
51	中学校生徒就学奨励事業	①特別支援教育就学奨励費 ②遠距離通学生徒補助 ③要保護・準要保護生徒就学援助	B	10-03-02-04	教育総務課	28,608	23,558	26,456
52	中学校心の教室運営事業	①心の教室相談員の配置	A	10-03-02-05	教育総務課	2,894	2,442	3,297
53	スポーツエキスパート派遣事業	①部活動へのスポーツエキスパートの派遣	C	10-03-02-06	教育総務課	1,477	1,460	1,750
54	14歳の挑戦事業費	①推進委員会、準備委員会の開催 ②指導者への謝金 ③活動保険料	B	10-03-02-07	教育総務課	1,438	1,063	1,438
55	部活動指導員配置事業費	①中学校部活動への指導員の配置	B	10-03-02-08	教育総務課	1,996	667	1,996
56	幼稚園事業	①市立幼稚園（般若幼稚園1園）の運営	—	10-04-01-02	こども課	13,207	7,003	統合
57	教育実施委託運営事業	①市内私立認定こども園（6園）及び市外私立認定こども園への教育実施委託費の支出	B	10-04-01-03	こども課	136,768	123,751	統合
58	社会教育推進事業	①二十歳の式典開催費 ②指定管理施設事業補助（花と緑と文化の財団）	B	10-05-01-02	生涯学習・スポーツ課	167,306	151,984	156,117
59	青少年成人教育事業	①青年団体リーダ養成 ②青少年育成地域推進員の配置 ③各種団体活動への補助	B	10-05-01-03	生涯学習・スポーツ課	882	792	772
60	子ども教室事業	①放課後子どもプラン運営委員会の開催 ②放課後子ども教室開設委託 ③土曜学習推進事業開設委託	B	10-05-01-04	生涯学習・スポーツ課	2,990	2,685	3,400
61	生涯学習センター管理運営事業	①指定管理（花と緑と文化の財団） ②舞台照明設備コンセント切替	B	10-05-01-05	生涯学習・スポーツ課	14,531	14,531	17,617
62	生涯学習センター管理運営事業（繰越明許）	①空調設備改修工事	—	10-05-02-01	生涯学習・スポーツ課	21,296	21,296	0
63	砺波まなび交流館管理運営事業	①まなび交流館管理	B	10-05-01-06	生涯学習・スポーツ課	15,216	13,361	10,607
64	砺波まなび交流館教室開設事業	①まなび講座開設	B	10-05-01-07	生涯学習・スポーツ課	933	728	936

【A（拡充）、B（継続）、C（見直し）、D（廃止）】

（単位：千円）

番号	事業名	評価した主な施策	総合評価	予算科目	所管課	R 5 最終 予算額	R 5 決算額	R 6 当初 予算額
65	公民館事業	①公民館長・公民館主事報酬費 ②運営事業委託料 ③公民館分館等建設補助金	B	10-05-02-01	生涯学 習・ス ポーツ課	45,102	44,769	51,105
66	生涯学習事業	①地区高齢者学級開設委託 ②市民大学「学遊塾」の開催 ③三世代交流ふれあい事業の実施	B	10-05-02-02	生涯学 習・ス ポーツ課	1,359	965	1,156
67	文化財保護事業	①文化財の保護 ②指定文化財の維持管理 ③郷土芸能伝承指導者育成事業の実施 ④デジタルミュージアム保守点検 ⑤文化財保存活用地域計画の策定	B	10-05-03-01	生涯学 習・ス ポーツ課	4,845	4,283	4,800
68	文化財保護事業費（繰越明許）	①ふるさとゆかりの偉人マンガ制作	—	10-05-03-18	生涯学 習・ス ポーツ課	3,000	3,000	0
69	市内遺跡発掘調査事業	①市内遺跡試掘調査の実施	B	10-05-03-02	生涯学 習・ス ポーツ課	1,003	600	1,002
70	かいによ苑管理運営事業	①かいによ苑維持管理	C	10-05-03-03	生涯学 習・ス ポーツ課	3,876	3,506	3,930
71	増山城跡整備活用事業	①史跡整備工事の実施 ②活性化事業の補助 ③史跡の公有化 ④増山陣屋の管理	B	10-05-03-04	生涯学 習・ス ポーツ課	19,360	17,847	12,679
72	芸術文化振興事業	①砺波市文化祭委託 ②文化活動支援事業補助 ③芸術文化振興事務等	B	10-05-03-05	生涯学 習・ス ポーツ課	2,560	2,560	2,450
73	文化会館管理運営事業	①指定管理（花と緑と文化の財団） ②再整備検討委員会の開催 ③舞台袖幕更新工事の実施	B	10-05-03-06	生涯学 習・ス ポーツ課	26,357	24,839	35,552
74	砺波市美術館管理運営事業	①指定管理（花と緑と文化の財団） ②収蔵美術品購入 ③北側屋根防水補修工事の実施	B	10-05-03-07	生涯学 習・ス ポーツ課	30,055	29,890	33,432
75	庄川美術館管理運営事業	①指定管理（花と緑と文化の財団） ②作品移転業務委託	—	10-05-03-08	生涯学 習・ス ポーツ課	36,518	36,320	48,744
76	庄川水資料館管理運営事業	①指定管理（花と緑と文化の財団） ②水資料デジタルコンテンツ制作 ③水資料展示資料移設及び解体	—	10-05-03-09	生涯学 習・ス ポーツ課	20,741	20,721	—
77	埋蔵文化財センター管理運営事業	①埋蔵文化財センターの管理 ②埋蔵文化財保存活用事業の実施	B	10-05-03-10	生涯学 習・ス ポーツ課	5,294	4,768	5,542
78	図書館管理事業	①該当事務事業なし（経常管理のみ）	—	10-05-04-02	砺波図書 館	47,183	44,243	45,557

【A（拡充）、B（継続）、C（見直し）、D（廃止）】

（単位：千円）

番号	事業名	評価した主な施策	総合評価	予算科目	所管課	R 5 最終 予算額	R 5 決算額	R 6 当初 予算額
79	図書館運営活動事業	①蔵書検索サイト及び図書館情報システムの利用促進 ②SNSを利用した図書情報の提供 ③雑誌スポンサー制度の運用(30事業所51誌) ④ボランティアとの協働による読み聞かせの実施、図書館運営協力 ⑤学校図書館との連携	B	10-05-04-03	砺波図書館	36,572	35,993	34,887
80	郷土資料館管理運営事業	①春秋特別展事業 ②民具等収集保存事業 ③国重要有形民俗文化財関係事業 ④旧中嶋家・旧中越銀行文化財保存事業 ⑤旧庄川民芸館事業円滑化補助	B	10-05-05-02	郷土資料館	25,590	21,627	22,971
81	散村地域研究所運営事業	①散村地域研究所運営	B	10-05-05-03	散村地域研究所	1,857	1,806	1,845
82	社会体育振興事業	①スポーツ推進審議会の開催 ②スポーツ推進委員協議会による研修会の開催 ③富山県派遣社会教育主事(スポーツ担当)による園児、児童及び高齢者への運動指導等の実施 ④休日の学校部活動の地域クラブ活動の移行	B	10-06-01-02	生涯学習・スポーツ課	39,861	19,926	42,175
83	生涯スポーツ振興事業	①体育振興会連絡協議会への事業委託 ②生涯スポーツを推進するための事業委託 ③あそびバ! in 砺波の開催	B	10-06-01-03	生涯学習・スポーツ課	4,923	4,551	4,642
84	スポーツ奨励事業	①市民体育大会の開催、県民体育大会への選手の派遣 ②となみ庄川散居村縦断マラソンの開催支援 ③全国大会等への出場支援 ④選手及び指導者の育成強化 ⑤マリナーフェスティバルの開催支援	B	10-06-01-04	生涯学習・スポーツ課	9,438	8,551	7,058
85	体育団体育成事業	①体育協会の活動支援 ②スポーツ少年団の育成強化	B	10-06-01-05	生涯学習・スポーツ課	50,494	49,864	52,528
86	体育施設事業	①社会体育施設の指定管理 ②社会体育施設用地の賃貸借 ③上和田緑地駐車場舗装工事 ④砺波市温水プールエレベーター改修工事 ⑤温水プール運営支援	B	10-06-02-01	生涯学習・スポーツ課	245,407	31,740	399,666
87	体育施設事業（繰越明許）	①公用車購入（砺波市B & G 海洋センター）	—	10-06-02-02	生涯学習・スポーツ課	4,488	3,684	0
88	給食センター運営事業	①日本型食生活を推進し、食に関する教材となるよう献立・調理を工夫した。 ②地産地消の推進として、JA等と協力し給食に地産産物の活用を図った。 ③食育の推進として、学校巡回や授業への参加等を実施した。	B	10-06-03-02	給食センター	104,406	102,998	86,101
89	給食センター管理事業	①老朽化が顕著となってきた現施設や機器等の保守及び修繕を計画的に進めた。 ②主にコンテナ乾燥消毒室床改修工事や給食用配送車1台の更新を実施した。	B	10-06-03-03	給食センター	57,268	51,202	60,281

(6) 個別評価表

令和5年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係：

こども課

児童家庭係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進
施策の内容	元気で笑顔あふれる子どもの育成

令和5年度事務事業の実施状況

事業名	児童福祉総務事業				
予算科目	3-02-01-02				
R 5 最終予算額	15,094		R 5 決算額	10,502	
	千円			千円	
			R 6 当初予算額	15,319	千円
事務事業評価した主な施策	・子育て支援サービス普及促進事業（子育て応援券の業務、子育て支援サービスの広報、親子ふれあい塾開催等） ・食育の推進（各種研修、行事開催） ・子ども・子育て会議の開催（砺波市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況、保育所・認定こども園の課題などの確認）				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。
		B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。
		C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。
		D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。
		B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。
		C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。
		D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	A	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。
		B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。
		C 事業成果は認められたが、コストを要した。
		D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。
		B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持
		C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要
		D 廃止 事業を廃止する（又は休止）

令和5年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係：

こども課

児童家庭係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進
施策の内容	子育て支援サービス

令和5年度事務事業の実施状況

事業名	家庭児童対策事業				
予算科目	3-02-01-03				
R5最終予算額	14,299		R5決算額	12,311	
	千円			千円	
事務事業評価した主な施策	・家庭児童相談室の運営 ・子ども家庭総合支援拠点の運営 ・要保護児童対策地域協議会の開催				

事務事業の点検及び評価

必要性	B	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	A	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	・近年、発達障害や虐待等の困難ケースが増加しており、家庭児童相談員による支援への期待が一層高まっている。 ・家庭児童相談員の現体制を継続し、可能な限り多くケースに対応していく。	

令和5年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係：

こども課

児童家庭係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進
施策の内容	子育て支援サービス

令和5年度事務事業の実施状況

事業名	地域児童対策事業				
予算科目	3-02-01-04				
R5最終予算額	38,768		R5決算額	37,184	
	千円			千円	
			R6当初予算額	39,610	
				千円	
事務事業評価した主な施策	・放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブの運営）の実施 ・砺波市児童クラブ連合会の運営支援				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。
		B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。
		C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。
		D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。
		B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。
		C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。
		D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	C	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。
		B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。
		C 事業成果は認められたが、コストを要した。
		D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。
		B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持
		C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要
		D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	・市内8小学校すべてに放課後児童クラブが設置されており、児童の健全育成や共働き家庭への支援のために継続していく必要がある。 ・放課後児童クラブの利用希望者が増加する傾向にあるほか、支援員の確保や特別な支援を必要とする児童への対応などの課題があり、今後の運営方法については運営委員会や学校と協議する必要がある。	

令和5年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係：

こども課

児童家庭係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進
施策の内容	元気で笑顔あふれる子どもの育成

令和5年度事務事業の実施状況

事業名	こども・妊産婦医療給付事業				
予算科目	3-02-01-06				
R5最終予算額	214,832		R5決算額	198,106	
	千円			千円	
事務事業評価した主な施策	・子ども・妊産婦の医療費の助成 子育て支援医療…乳児から高校生までの入通院にかかるもの 妊産婦医療………医師の診断があった月の初日から出産した月の翌月末までのもの 未熟児養育医療…低体重、チアノーゼ、黄疸など医師の診断により必要と認められるもの				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。
		B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。
		C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。
		D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	A	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。
		B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。
		C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。
		D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	C	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。
		B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。
		C 事業成果は認められたが、コストを要した。
		D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。
		B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持
		C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要
		D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	・乳幼児から高校生までの児童と妊産婦に対する医療費の助成は、子育て家庭を支援するうえで必要である。	

令和5年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係：

こども課

児童家庭係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進
施策の内容	子どもの人権の尊重

令和5年度事務事業の実施状況

事業名	母子寡婦福祉資金貸付事業				
予算科目	3-02-03-04				
R 5 最終予算額	2,000	千円	R 5 決算額	2,000	千円
				R 6 当初予算額	2,000
					千円
事務事業評価した主な施策	・母子家庭の母及び寡婦の日常生活上の不測の出費を対象として、砺波市母子寡婦福祉連合会を通して小口資金を貸し付ける。 (10万円、半年貸付、無利子)				

事務事業の点検及び評価

必要性	C	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	D	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	C	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する(又は休止)
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	・利用件数が平成29年度以降減少しており、事業のあり方を検討する必要がある。 (H28 19件、H29 4件、H30 2件、R1 4件、R2 6件、R3 5件、R4 3件、R5 3件)	

令和5年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係：

こども課

保育幼稚園係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	豊かな心と健やかな体を育む幼児教育・保育の推進
施策の内容	子育て支援サービスの充実

令和5年度事務事業の実施状況

事業名	子育て支援センター運営事業				
予算科目	3-02-04-03				
R5最終予算額	80,294		R5決算額	77,529	
	千円			千円	
事務事業評価した主な施策	・子育て支援センター事業（育児不安等の相談指導、子育てに関する情報提供、子育てサークルへの支援） ・ファミリー・サポート・センター事業（事務局の運営、依頼会員と協力会員の連絡調整）				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 （経済性）	C	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 （必要性、優先性、効率性（経済性）を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。）	・核家族化が進み気軽に頼れる相手がいらない子育て家庭が増えており、継続する必要がある。	

令和5年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： 教育総務課 庶務係・学務係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進
施策の内容	地域とともに育てる学校教育の推進

令和5年度事務事業の実施状況

事業名	事務局運営事業				
予算科目	10-01-02-03				
R5最終予算額	17,338		R5決算額	13,003	
	千円			千円	
R6当初予算額	19,128				
	千円				
事務事業評価した主な施策	・特別支援担当指導主事の配置 ・早期支援コーディネーターの配置 ・小中学校長会等補助金 ・市学校保健会補助金 ・学校規模適正化検討委員会開催費				

事務事業の点検及び評価

必要性	B	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	A	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	A	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	・特別な支援を必要とする子供及び保護者に対し、早期からの情報の提供や相談会の実施等による柔軟できめ細やかな対応を行うことや、専門的な見地から保育所・認定こども園・小中学校に指導や助言を行っていることが就学や個別最適な学習等に際し大きな効果を得ており、継続した実施が求められているため。 ・学校のあり方検討委員会の提言を受け、総合教育会議の意見を踏まえて「砺波市立学校の適正規模・適正配置に関する基本的な考え方」を定め、学校規模の適正化検討委員会を立ち上げ、現在、議論をいただいているため。	

令和5年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係：

教育総務課

庶務係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進
施策の内容	地域とともに育てる学校教育の推進

令和5年度事務事業の実施状況

事業名	奨学資金貸付事業				
予算科目	10-01-04-01				
R5最終予算額	5,710		R5決算額	4,800	
	千円			千円	
事務事業評価した主な施策	・奨学資金の貸付 ・Uターン等（砺波市在住者）償還金の減免				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	A	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	B	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	・優秀な人材の育成を図るため、成績が優秀であるが学費の支弁が困難な者に対し、奨学資金を無利子で貸与しているもの。 ・景気や社会情勢等の状況に応じ、貸付額等について検討しながら、継続していく必要がある。	

令和5年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係：

教育総務課

庶務係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進
施策の内容	地域とともに育てる学校教育の推進

令和5年度事務事業の実施状況

事業名	神下勇夫妻奨学資金貸付・給付事業				
予算科目	10-01-05-01				
R 5 最終予算額	11,520	千円	R 5 決算額	10,260	千円
			R 6 当初予算額	13,020	千円
事務事業評価した主な施策	・神下勇夫妻奨学資金の貸付及び給付 ・Uターン等（砺波市在住者）償還金の減免				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	A	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	B	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	・篤志家からの寄附を原資に、優秀な人材の育成を図るため、成績が優秀であるが学費の支弁が困難な者に対し、奨学資金を無利子貸与（1／2）と給付（1／2）しているもの。 ・景気や社会情勢等の状況に応じ、奨学資金の額や給付割合等について検討しながら、継続していく必要がある。	

令和5年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係：

教育総務課

学務係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進
施策の内容	子どもの安全確保

令和5年度事務事業の実施状況

事業名	スクールバス運行事業				
予算科目	10-02-01-03				
R5最終予算額	28,695		R5決算額	27,437	
	千円			千円	
事務事業評価した主な施策	・スクールバス運行委託料 ・スクールバス維持管理費及び燃料費 ・スクールバス修繕費 ・砺波北部小学校スクールバス及び庄東小学校スクールバス購入				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	A	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する(又は休止)
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	・遠距離通学児童の安全安心な登下校を確保するため、庄東小学校及び庄川小学校のスクールバスの運行について業務委託するとともに、その他の学校において、学校行事や校外学習を行う際にも活用するなどスクールバスの有効利用を図っている。 ・砺波北部小学校にスクールバス(マイクロ)及び庄東小学校にスクールバス(ワゴン)を各1台ずつ購入した。 ・今後、導入から20年以上経過しているスクールバス車両について、計画的な更新が必要である。	

令和5年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： 教育総務課 庶務係・学務係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進
施策の内容	知、徳、体のバランスのとれた児童生徒の育成

令和5年度事務事業の実施状況

事業名	小学校教育奨励事業					
予算科目	10-02-02-01					
R 5 最終予算額	112,435		R 5 決算額	105,122	R 6 当初予算額	135,550
	千円			千円		千円
事務事業評価した主な施策	・学校司書、学習支援員、スタディメイトの配置 ・教材用消耗品の購入 ・教育用備品の修繕 ・教育用コンピューターの賃借料及び保守料の支出 ・ふるさと学習推進事業					

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	A	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	・学習支援員、スタディメイトの配置により、児童の主体的、意欲的な学習活動などを支援している。 ・支援を必要とする児童が増加する傾向にあり、これまで以上に多くの人員や長時間の配置などの対応が必要である。 ・授業等にタブレット端末や電子黒板を積極的に活用し I C T 教育の充実を図った。更に、効果的な活用について推進するもの。	

令和5年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係：

教育総務課

庶務係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進
施策の内容	共に支え高め合う特別支援教育の充実

令和5年度事務事業の実施状況

事業名	小学校心の教室運営事業				
予算科目	10-02-02-05				
R 5 最終予算額	3,950		R 5 決算額	3,306	
	千円			千円	
事務事業評価した主な施策	・心の教室相談員の配置				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	A	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	・児童が悩みなどを気軽に話せ、ストレスを和らげることができる第3者的な存在となりうる者として相談員を全小学校に配置している。 ・不登校児童など不安を抱える児童が増加傾向にある、配置時間数の増など検討を要する。	

令和5年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係： 教育総務課 庶務係・学務係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進
施策の内容	知、徳、体のバランスのとれた児童生徒の育成

令和5年度事務事業の実施状況

事業名	中学校教育奨励事業				
予算科目	10-03-02-01				
R5最終予算額	50,234		R5決算額	47,275	
	千円			千円	
			R6当初予算額	52,988	千円
事務事業評価した主な施策	・学校司書、スタディメイトの配置 ・教材用消耗品の購入 ・教育用備品の修繕 ・教育用コンピューターの賃借料及び保守料の支出 ・ふるさと学習推進事業				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	A	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	・スタディメイトの配置により、生徒の主体的、意欲的な学習活動などを支援している。 ・支援を必要とする生徒が増加する傾向にあり、これまで以上に多くの人員や長時間の配置などの対応が必要である。 ・授業等にタブレット端末や電子黒板を積極的に活用しICT教育の充実を図った。更に、効果的な活用について推進するもの。	

令和5年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係：

教育総務課

庶務係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進
施策の内容	共に支え高め合う特別支援教育の充実

令和5年度事務事業の実施状況

事業名	中学校心の教室運営事業				
予算科目	10-03-02-05				
R 5 最終予算額	2,894	千円	R 5 決算額	2,442	千円
			R 6 当初予算額	3,297	千円
事務事業評価した主な施策	・心の教室相談員の配置				

事務事業の点検及び評価

必要性	A	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	A	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	A	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	・児童が悩みなどを気軽に話せ、ストレスを和らげることができる第3者的な存在となりうる者として相談員を全中学校に配置している。 ・不登校生徒など不安を抱える児童が増加傾向にあるため、配置時間数の増など検討を要する。	

令和5年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係：

教育総務課

学務係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	自立と共生の人間形成をめざす学校教育の推進
施策の内容	知、徳、体のバランスのとれた児童生徒の育成

令和5年度事務事業の実施状況

事業名	スポーツエキスパート派遣事業				
予算科目	10-03-02-06				
R5最終予算額	1,477	千円	R5決算額	1,460	千円
			R6当初予算額	1,750	千円
事務事業評価した主な施策	・中学校部活動へのスポーツエキスパートの派遣				

事務事業の点検及び評価

必要性	B	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	B	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	B	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	C	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	・中学校の部活動に専門的な知識や経験を有する指導者を派遣し、教職員の指導を支援するとともに部活動を活発化させている。 ・休日の部活動の地域移行に伴い見直しが必要である。	

令和5年度実施事務事業 個別評価表

担当課・係：生涯学習・スポーツ課

生涯学習係

砺波市教育大綱に定める主要施策の分類

主要施策名	文化芸術の振興と文化財の保存・活用
施策の内容	文化財等の保存と活用

令和5年度事務事業の実施状況

事業名	かいによ苑管理運営事業				
予算科目	10-05-03-03				
R5最終予算額	3,876千円	R5決算額	3,506千円	R6当初予算額	3,930千円
事務事業評価した主な施策	・かいによ苑維持管理				

事務事業の点検及び評価

必要性	C	A 市民のニーズが高く必要な事業である。 B 法令等の定め、または一定のニーズがあり必要性は高い。 C 市民のニーズは認められるが、一定の効果を実現し、必要性が低下してきている。 D 市民ニーズ、社会情勢から必要性が低下し、不要又は全部見直しが必要である。
優先性	C	A 優先度が高く、他の事業に優先して実施する必要がある。 B 効果が期待できることから、できるだけ早期に取り組むことが適当である。 C 効果が期待できるが、他の事業に優先して行うほど優先度は高くない。 D 事業実施に伴う効果が見込まれないことから代替事業を検討する必要がある。
効率性 (経済性)	C	A 安価な事業費で事業成果もあり、計画的に効率よく実施できた。 B 安価な事業費で事業成果もあったが、計画どおり事業が進捗しなかった。 C 事業成果は認められたが、コストを要した。 D 事業成果が低く、コストも要した。

総合評価	C	A 拡充 十分な事業水準にあり、かつ必要性も高く、事業の拡充が必要である。 B 継続 一定の事業水準にあり、今後も更なる効率化を図り、成果を維持 C 見直し 事業の必要性はあるが、その方法等見直しが必要 D 廃止 事業を廃止する（又は休止）
総合評価の理由等 (必要性、優先性、効率性(経済性)を考慮し、総合評価に至る経過とを説明すること。)	・かいによ苑は文化財施設の利用であり、利用者の活動も制限されている。市指定の文化財として施設を維持管理し、長寿命化を図るべきだが屋根の葺き替え工事が懸念材料である。また、市民が生涯学習活動に利用できる施設が他にもあることから、今後のあり方を検討する必要がある、令和6年度中にあり方の方針を策定予定である。	

Ⅲ 学識経験者の意見について

令和５年度教育委員会事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価にあたり、客観性を確保するため、点検評価の方法や結果等について学識経験を有する者の意見を聴いた。

１ 学識経験者の氏名等

氏 名	主な経歴等
山本 一弘	元小学校長
池上 弘芳	砺波市女性団体連絡協議会会長
堅田 雄志	砺波市ＰＴＡ連絡協議会会長

２ 意見聴取日等

令和６年１２月３日（火） 砺波市役所東別館会議室

３ 主な意見

- （１）鷹栖小学校で開催された「よい音楽を聴く会」のような生演奏やスポーツなどの生観戦でしか感じることができない臨場感をもっと子供たちに与えてあげることが大切であり、国や県が実施するような同様の事業に対して積極的な参加をお願いしたい。
- （２）放課後児童クラブの支援員が不足しており、後任者を見つけることも困難となっていることから、人材確保のフォローをお願いしたい。
- （３）支援が必要な子供だけでなく、色々な意味で手助けが必要な家庭も増えていることから、これまでも積極的に手厚い支援を行っていただいているが、家庭児童相談員の充実など今後も継続した支援をお願いしたい。
- （４）人口減少の中で、未就学児と小学校低学年の子育てや就学及び部活動に必要な資金確保など保護者にかかる負担も年代ごとに変えることから、各年代に応じた対策をこれからもお願いしたい。
- （５）タブレット端末を活用したＩＣＴ教育の充実を図っておられるが、どのような人材を今後育てていくのかということを経験の皆さんに見ていただくことも大事だと考えることから、親以外の地域の方々も参加できる企画を検討していただきたい。
- （６）若手の教員は、タブレット端末を使うという体験と活動はしっかりとされていると思うが、そこにどんな学習があって何が身につくかということをしっ

りと研修していただきたい。

(7) 公民館では、将来を見据え子供たちも巻き込んだ活動を展開しているが、いきいき百歳体操も含め、それぞれが生きがいを持てる活動に対して、今後も継続した支援をお願いしたい。

(8) 学校規模適正化における中学校の再編については、通学の問題など丁寧な説明をしていただき、しっかりと理解していただくよう対応をお願いしたい。また、新たな学校の核となる教育理念をしっかりとしていただき、全国からも集まってくるような学校にしていいただきたい。

IV まとめ

教育に関する事務の点検及び評価において、点検評価の方法や結果等について、学識経験者の皆さんからいただいた貴重なご意見を可能な範囲で反映させる。

今後とも、この点検及び評価を通して、課題を明らかにしながら教育施策の充実、推進に努める。